

2012年4月20～22日；宮城県東松島市における交流ボランティア活動
～四日市東日本大震災支援の会 第11回派遣～
四日市市・四日市市社会福祉協議会との協働プロジェクト

四日市東日本大震災支援の会
代表 鬼頭浩文

2011年4月1日に立ち上げた四日市東日本大震災支援の会は、昨年5月2日より宮城県東松島市において災害ボランティア活動を行ってきた。2012年2月からは、昨年の活動で築かれた深い関係をもとに、現地生活復興支援センターと協働し、仮設住宅中心に生活復興を支援する交流型のボランティア派遣を行っている。第11回目の派遣となる今回の活動は、四日市市・四日市市社会福祉協議会とのコラボレーション企画であった。

行政・社協・大学がともに仮設住宅で交流ボランティアを行うというのは、画期的なものといえる。支援の在り方を考える場合に重要なのは、現地ニーズの把握、早期復興のための素早い行動、そして自立を妨げない冷静な判断である。初期の段階では、現地の災害ボランティアセンターの指示に従って黙々と精神的にも体力的にも厳しい作業を行う若者たちのパワーが有効であった。心のケアが必要となっている現在は、継続的で専門的な知識や技能が必要とされる。行政には、危機管理や心のケアの専門家がいる。社会福祉協議会には、日頃から心のケアを専門に行うスタッフがいる。大学には、専門的な視点から支援にあたるための研究者の知見と若い学生たちの溢れるパワーと意欲がある。生活復興フェイズにおける被災地支援には、これらの協働がとても有効だと考える。

また、このような協働は、四日市の災害発生時の「受援力」向上にも大切なものである。被災地では、避難所で中高生・大学生が大活躍したことを何度も聞いた。われわれも、災害ボランティアセンターでスタッフとして働く宮城県の現役大学生たちの指示を受けて作業をしたケースが何度かあった。他方で、行政と災害ボランティアセンターの情報共有がうまくいかないケースや、災害ボランティアセンターとボランティアの間のトラブルについても多く耳にした。東南海地震が発生した場合には、行政と社協が密接な連携をし、若者が直ちに城内ボランティアとして活動を開始できるよう、日頃から体制づくりをしていくことが重要である。今回の派遣は、支援活動を通じて受援力を高める目的も持っている。今後も、このような協働プロジェクトを継続していきたい。

<参加者 36名>

四日市大学	学生 8名+教員 1名
四日市看護医療大学	学生 12名+教員 3名
四日市市	危機管理室 3名、保健所 3名、観光推進室 1名
四日市市社協	職員 5名



<スケジュール>

4月 20日(金)	13:00	先発隊3名(支援の会鬼頭、危機管理室内糸、社協野田)東松島市入り *活動場所の下見(鷹来の森仮設住宅集会所) *生活復興支援センター矢本西サポートセンターでの打ち合わせ *グリーントウンの大規模仮設住宅の視察 *その他、翌日の活動に必要な準備・調査など
	18:30	四日市大学を学生隊が出発
	20:00	四日市市役所前で市・社協と合流、本隊出発
21日(土)	06:00	宮城県東松島市 野蒜地区～石巻市の激甚被災地の視察(先発隊と合流)
	09:30	鷹来の森運動公園仮設到着、戸別訪問 and 交流会準備 and 表敬訪問 *看護医療大学の学生を中心に仮設住宅の戸別訪問 *看護教員・四日市大学学生・社協が交流会の準備 *中央サポート、矢本東サポート、矢本西サポートを訪問
	13:00	交流イベント(鷹来の森運動公園仮設住宅集会所) *四日市看護医療大学(血圧測定・足湯マッサージ) *四日市大学(茶話会:伊勢茶と四日市の和菓子) *社協(綿菓子ボーリング)
22日(日)	07:00	四日市帰着、片付け後解散

<現地での活動概要>

ー被災地の視察ー

東松島市の野蒜地区、大曲浜地区、石巻市門脇町をバス車内から視察し、門脇小学校前で降車して激甚被災地の現状をみた。

ー仮設住宅訪問ー

学生が仮設住宅を戸別訪問し、外側にメッセージを綴った紙袋を用い、午後から企画していた交流会の案内状・メッセージ・伊勢茶・入浴剤を同封し配布した。

ー足湯マッサージー

入浴剤を入れたお湯の中で足のマッサージを行った。足湯後、皮膚の状態に応じて保湿クリームを使用した。また、肩揉みやハンドマッサージを一緒に行った。必要となる一人当たり10リットル42度のお湯は、四日市大学が持ち込んだLPGガスによって沸かした。洗浄場所が制限されたため、バケツに45リットルのビニール袋を入れて洗浄不要になるような対策をとった。

ー血圧測定ー

看護大学の教員が中心となり、日常生活での健康状態を問診後、血圧測定を実施した。

ー出張おもちゃ図書館ー

社協が企画し、小さいお子さんでも遊べる手作りおもちゃ、巨大ボーリングゲームなど親子で遊べるコーナーを設置した。学生も一緒に子供たちと遊んだ。また、綿菓子コーナーでは、子供たちが自分で綿菓子を作る体験も行った。

ーお茶会ー

四日市のお菓子とお茶で、仮設住宅の皆さんと交流し、被災時のことや、その後の不自由な生活について聞かせていただいた。

ーお達者クラブ in 東松島ー

四日市市の理学療法士による簡単なストレッチや筋トレ運動を指導した。また、理学療法士による肩こり・腰痛相談、保健師による心と体の相談も行った。

四日市のお茶とお菓子で楽しく交流しましょう！

4月21日(土) 三重県四日市市と四日市東日本大震災支援の会大学生による交流イベントです！

四日市東日本大震災支援の会では、昨年5月より、この東松島市(大曲・矢本・赤井の各地区)でボランティア活動をしてきました。4月21日には、三重県四日市市職員と四日市東日本大震災支援の会の大学生とがコラボで、ここ東松島市の仮設住宅の皆さんと交流する、楽しい企画を考えました。ぜひ参加ください！お待ちしております！

足湯でリラックスしませんか？



看護学生が
疲れた足を
マッサージ!!



* タオル1枚ご持参ください

移動にお手伝いが必要な方は、気軽に声をかけてください。
仮設住宅内を巡回しています。

皆さまのお越しを
お待ちしております

四日市市社会福祉協議会

出張！おもちゃ図書館

小さいお子さんでも遊べる手作りおもちゃ、巨大ボーリングゲームなど親子で遊べるコーナーです。

★綿菓子コーナーもあるよ～



お達者クラブ in 東松島

(四日市市職員のコーナーです。)

- 内容
- ・ストレッチや簡単な筋トレ・タオル運動を理学療法士と一緒にやり、体も心もリフレッシュしましょう！
 - ★運動とリフレッシュは、14:00～14:30です！！
 - ・理学療法士による肩こり、膝・腰の痛み相談(いつでもOK)
 - ・保健師による ところと体の相談(いつでもOK)



四日市のお茶とお菓子で交流

三重名産の伊勢茶(水沢茶)とお菓子で、私たちと交流しませんか？

時間内であれば、いつでも、何度でも(?)OKです！！

伊勢茶



場所：鷹来の森 集会所

日時：4月21日(土) 13:00～16:00

四日市市 & 四日市東日本大震災支援の会